



～卒業生からメッセージ（理学療法士）～



私は現在、東京都内のフィットネスジムで働きながら、子どものランニング指導や障害者向けスポーツ指導などを行なっています。また、ベストセラー「五体不満足」の著者、乙武洋匡氏のロボット義足歩行への挑戦「乙武義足プロジェクト」の担当理学療法士として関わらせていただいています。

在学中の講義と病院実習で教えていただいた、『聞く力が現場では非常に大切』は、今も私の根幹にある考え方であり、現場で一番意識している点です。フィットネスと障害者スポーツの領域で、日々やりがいを感じながら仕事に取り組んでいます。理学療法士をめざしているみなさんにお伝えしたいのは、「本当に楽しくやりがいのある仕事です！」ということです。



大学 保健医療学部 理学療法学科5期生 内田直生  
新潟県立長岡向陵高等学校出身

～母校の学校説明会へ参加して～



母校で行われた学校説明会で、参加して下さった中学生の生徒さんや保護者の方々へ大学について説明したり、アドバイスをしたりしました。

私は身近に発達障害の人がいます。その人のことをサポートしたい、その人だけでなく、さまざまな障害を学び、もっとたくさんの人の助けになりたいと思い、特別支援学校の先生をめざして植草学園大学に入学しました。そして今回、大学の魅力や将来に生かされる専門的・実践的な学びなどを説明する中で、改めて植草学園大学で学べて良かったと思いました。

同じ夢をもったたくさんの仲間たちと支えあって学べるのが植草学園大学の最大の魅力です。その仲間たちとともに夢を叶えるため頑張ります。



大学 発達教育学部 発達支援教育学科1年 山田花菜  
千葉県私立植草学園大学附属高等学校出身

～中国から来日し特別支援を学んでいます～

植草学園大学に入学するにあたり、最初に学校に魅力を感じたのは「私の力が誰かの力になりますように」というスローガンが私の抱いていた思いと一致したことでした。また、母国である中国でも、日本が特別支援教育の分野で大きな成果をあげていることは知られていました。そのため、専門的な知識や技術を身につけるために植草学園大学に入学することを決めました。入学前は不安な気持ちが大きかったのですが、実際に入学してみると大学生活は楽しく、新たな知識を得ることができました。また、大学では子どもたちと直接コミュニケーションをとることができるイベントやボランティア活動を行っており、それを通し大学生活を充実させることができます。将来は、教員という立場で障害のある子どもたちを支援し、心の支えとなれるような存在になりたいと思っています。



大学 発達教育学部 発達支援教育学科1年 郁詩儀  
中国 寧波経貿学校出身

2020年  
新設決定！

お待たせしました！

植草学園大学 保健医療学部  
リハビリテーション学科

作業療法学専攻



アートラボ、サイエンスラボを備えた  
作業療法学専攻専用の新校舎「T棟」を建設

植草学園大学は、2020年4月、作業療法学専攻を開設することが正式に決定しました！これまでの作業療法評価や治療法に加えて、ロボットテクノロジー等の利用による新たな治療法や、音楽・玩具などの作業療法本来の活動を通して、評価・介入を行うことを取り入れます。



学びのキーワードは  
“アート&サイエンス”  
新たな治療法の可能性を  
積極的に探っていきます。

